

# 馬酔木通信

# 40号

2021年3月



## INDEX

学長からのメッセージ	2	子育て支援センター	10
トビックス	3	地域・国際連携センター	11
生活未来科	4	防災・環境委員会/あせび会	12
地域こども学科	5	留学生の声	13
学生・キャリア支援センター	6	学生レポート（生活未来科）	14
障害学生修学支援センター	6	学生レポート（地域こども学科）	15
教育支援センター	7	学友会・学長賞	16
自己点検評価室	7	奈良佐保の取り組み（カレンダー）	17
情報メディアセンター	8	奈良佐保の取り組み（新聞掲載）	18
入試・広報センター	8	奈良佐保の取り組み	19
図書館	9	（特集：新型コロナウイルスの対応と記録）	





本学では、2020年度、新型コロナウイルス感染症防止のため、入学式やオリエンテーション等は実施会場を分散するなどして、例年とは異なる形で実施いたしました。次いで、日本政府の緊急事態宣言を受け、4月から5月までは、学生たちは登学禁止として、遠隔授業の実施となりました。

入学してきたばかりの新生は、思い描いていたものとは異なるキャンパスライフに戸惑い、不安でいっぱいだったことでしょう。元来、大学は、学生が集い、学び合い、交流を深めて、共通の記憶を育み合う場でもあるはずなのに、友人や教職員とも語り合うこともなく、様々な知的刺激を得ることができない大学生活に、どのように学生を対応させるのかなど大きな課題でありました。

多くの教員にとっても、戸惑いがある中で、まずは、オンライン等により資料を配信するなどして遠隔授業を開始いたしました。教員も慣れない授業形態ではありましたが、学生の喪失感を補うために様々な工夫を凝らした授業を展開していました。

6月からは、小規模校であることを利用して、いわゆる「3密」を回避した条件のもと、対面授業を実施することが出来ました。

久しぶりに会った2回生の学生が、「去年入

学した自分たちは、憧れの大学生活が始まり、高校とは違う大学の授業や新たな友人との出会い、さらに2回生のアドバイスなど緊張感と期待感で毎日がわくわくする日々でした。入学早々2か月間自宅で遠隔授業となった1回生の気持ちを思うと、大丈夫かなと心配です。」と話してくれました。この学生の思いは有難く、「1回生へのサポート、お願いしますね。」と伝えるとともに、人と人との様々な関わり合いを通して培ってきた他者への思いやそれを言葉で表現できる学生に成長していることを称えました。

対面授業の醍醐味は、授業の内容を学生がどのように理解しているかを、教員は、学生たちの表情や態度から読み取ることが出来、また、学生は、お互いの考えを交流しながら知識を深め合い学ぶことの楽しさを知るなどして、同じ空間を共有しながら、自分たちの将来の夢の実現に力を尽くすことにあります。

対面授業を開始した6月初とは打って変わって、日々の経過とともに、明るい表情で挨拶を交わしてくれる1回生に安堵いたしました。

新型コロナウイルス感染症拡大の収束がはかられない中で、学生たちには、今までの平凡な生活の有難さを改めて認識するとともに、自分が感染しない感染防止策と他者を感染させない配慮を忘れないで、自分の命とともに他者の命を守るために、今、自分ができると、また、しなければならぬことは何かをしっかりと考えて、これまでの経験では解決できない状況でも、コロナ禍から学んだことを活かして、人としてあるべき姿を作り出してくれることを期待しています。

多くのことが制限を受けるコロナ禍の中にあっても、今後の状況も勘案しながら、教育活動のさらなる充実に向けて、対面授業を中心に遠隔授業も取り入れ、人間力豊かな対人専門職の養成校として、その使命を果たしてまいります。





## 新型コロナウイルス禍における奈良佐保短期大学

事務局長 倉田 清

## 1 新型コロナウイルス感染広がる!

世界で初めて「新型コロナウイルス」が中国武漢市で発見されたと、2019年11月頃大きく報道されたように記憶しています。しかしその時は、正直言って「中国で大変なことが起こっているようだ」ぐらいの認識でした。まさに対岸の火事という印象です。

そして2020年2月新型コロナウイルスが身近に迫っていることを知らされることになりました。神奈川県横浜港に「ダイヤモンドプリンセス号」が入港し、ツアー客や乗務員の中に大勢感染者がいるとのニュースに、これはもう他人ごとではない、大変な事態だ、これ以上大きく広がらなければいいのに…と祈るような気持ちでニュース映像に見入っていたものでした。その後各地で、感染者が激増し、瞬く間に日本中を、未知なる感染症への不安と恐怖に陥れることとなりました。

## 2 感染防止を最優先し、卒業式を教室で挙行!

2月に入り、各地から新型コロナウイルス感染症の拡大の様相に、3月18日に予定されている「2019年度卒業式・修了式」を予定どおり挙行すべきか、延期すべきか、決断の時期が迫っていました。

学生にとって、学校生活の大きな節目であり生涯の思い出となるものであり予定どおりあるいは規模を縮小しても実施すべき、という意見。学生の健康が何よりも最優先であり、延期も含め中止も視野に再検討すべきという意見。学内の意見は大きく分かれました。

奈良佐保短期大学が出した結論は、「学生の健康・新型コロナウイルス感染防止を最優先し、従来の卒業式ではなく感染防止に最大限配慮し、来賓・保護者のご出席を辞退し、学科毎に、三密を避け換気やソーシャルディスタンスを十分にとり、体育館ではなく、各教室で簡素な中に厳粛な卒業式を行う」というものでした。

卒業式当日は、晴れ着を着て出席する卒業生も多く、家庭的な雰囲気の中、いつもと違う卒業式に戸惑いながら、学生たちの巣立ちを見送ることができました。そして、学生たちが楽しみにしていた恒例の「奈良ホテルでの謝恩会」も中止となりました。

3月29日になり、他大学がクラスターとの報道に、もはや感染防止が最大の課題となりました。

## 3 新入生の苦難、授業開始できず!

4月2日卒業式同様、学科毎に教室での入学式。入学の喜びに浸る間もなく、6日までオリエンテーション。

いよいよ2020年度の授業開始というその日、4月7日に、東京・神奈川・埼玉・千葉・大阪・兵庫・福岡の7都府県に緊急事態宣言が発令され、これを受け奈良佐保短期大学は、取り急ぎ4月7日～4月10日までを休校としました。

## 4 「遠隔授業」を開始!

翌週の4月13日からは、準備が整った科目から「遠隔授業」を実施することを決定。先生方も準備におおわらわ、とにかく学生の健康・感染防止を図りつつ、教育の確保という2兎を追うこととしたのです。

4月16日には、緊急事態宣言が全国に拡大、奈良県知事からは「1000㎡を超える大学は休止を」との要請が出されました。奈良佐保短期大学は、建物の面積では、約13,700㎡あり、知事からの要請に該当することを確認し、苦渋の思いではありましたが、感染症の拡大防止に協力するため、やむなく休学とすることとしました。休学中も、引き続きパソコンやスマホを駆使し、遠隔授業を継続しました。学生たちの学びたいという思いとそれに何とか応えたいという先生方の熱い思いもあって、困難な時期を乗り越えることができたことに感謝申し上げます。

## 5 他大学に先駆けて対面授業を再開!

5月14日緊急事態宣言が、奈良県を含む39の県で解除することが決定。これを受けて、学生の状況確認、教室等の消毒・清掃、何よりも教育体制の再点検等を行い、6月から対面による授業を行うこととしました。これらは、小規模校ならではのもので、家庭的環境の中で、感染防止にも十分配慮可能との判断によるものです。

## 6 新しい時代に、新しい手法で、新しい教育!

奈良佐保短期大学では、ウイズコロナ・アフターコロナの時代に備え、2021年度入学生全員が、Chromebook 必携とすることとし、これを活用してICT(情報通信技術)教育を推進することとしています。

学生は毎日登学して教室で授業を受ける……という形が大きく変わるのではないかと考えています。

学生や教職員が、ICTを活用し、情報を簡単に入手し、修学に研究に情報交換などに自由闊達に活動し、より充実した学修成果が上げられるようになるのではないかと考えています。

まだまだ手探りで模索が続く揺籃期、学生たちの夢や希望を実現するため、頑張っています。

今後とも、よろしくお願いいたします。

事例研究発表会を終えて

生活福祉コース 島村 真理子



生活福祉コースでは、12月11日(金)に実習でそれぞれが担当した利用者の方と向き合う中で、これまで学んできた

知識や技術を活用し、実際に介護過程の展開に取り組んだ中で学びや気づきを発表する事例研究発表会を開催し、2回生9名の学生がその成果を発表しました。

今年度はCOVID-19の影響を受け、全実習期間の中で利用者の方と直接関われるのは1~2日、残りの日程は学内実習とする初めての試みとなりました。いつもとは違う実習の形に、不安を覚える学生も多かったと思いますが、実習を受け入れてくださった施設の実習担当者様から少しでも利用者の方をイメ

ジしやすいようにと多くの情報を提供していただき、それぞれが担当する利用者の方を想像し、生活を支えるための介護計画を創造していききました。

発表の日を迎えるまで、担当した利用者の方に思いを馳せながら立案した介護過程の内容を振り返り、その人らしい生活を支えるために必要な支援とは何かということや、自身の考えの軸となった理論や概念と照らし合わせながら考察を深めてきました。考えをまとめ、その成果を大勢の前に発表するということは本当に大変なことだったと思いますが、真剣に取り組んできたことが言葉やスライドから伝わってくる素晴らしい発表ができていました。

2年間の学びの集大成でもあった事例研究発表会、この学びを通して介護観が揺り動かされた学生は多かったのではないのでしょうか。

発表会の最後を関わってくださった多くの方々への感謝で締めくくった9名。奈良佐保スピリッツを胸に、現場の方々と協働しながら介護福祉士として活躍されることを期待しています。

奈良 秋の収穫祭&物産展に出店

食物栄養コース 箕山 なおみ



2020年10月28日、JR奈良駅前にある『まほろばキッチン』の駐車場で行われた【奈良 秋の収穫祭&物産展(主催:奈良県農業協同組合)】に、食物栄養コースの学生が出店しました。

食品加工学実習で作ったジャムや、専門調理の実習で作ったパウンドケーキなどと共に、製菓フィールドの学生が自分たちでレシピ考案から行った焼き菓子を販売しました。

コロナ禍の中、奈良の街を盛り上げようというイベントで、感染症対策をしっかりと行った中で、多くの人に

足を運んでいただきました。

製菓フィールドの学生たちは、奈良の街を元気に、笑顔に、という思いを込めて、奈良県の特産品を使用したお菓子作りに挑戦しました。

何度も試作を繰り返して出来上がったのは、大和野菜である宇陀金ごぼうを使用した“宇陀金ごぼうのチョコカップケーキ”と、大和茶を使用した“フィナンシェ”と“スノーボール”です。

当日は、ハロウィンの仮装をした学生たちが販売を担当しました。

一般のお客さんの他に、食物栄養コースのクラスメイトや卒業生なども訪れ、準備したジャムや焼き菓子は、あっという間に完売しました。自分たちが心を込めて作ったお菓子が大好評だったのを見て、学生たちにも笑顔があふれていました。

医療事務資格・検定対策の充実、整備

ビジネスキャリアコース 戸田 信聡



ビジネスキャリアコースでは医療機関の事務職として活躍できる資格・検定対策の充実、整備を進めています。

医療事務職で就職を目指す学生たちは、医療事務資格取得に向けて日々取り組んでいます。

更に本年は、学生たちの学習意欲に応え、医療機関への就職に役立つ医療秘書検定の対策講座を2020年の9月より設置し、検定試験にもチャレンジしています。

ビジネスキャリアコースで取得できる医療事務の資格は「医事実務士資格」「医療秘書実務士資格」です。医事実務士資格は外来患者への受付業務やレセプト業務など医療機関の受付業務に対応する資

格です。「医療秘書実務士資格」は医師、看護師が円滑に業務を行えるよう管理・文書作成・補助に対応する資格です。これらの資格を取得することで、主な就職先としては総合病院、個人病院、クリニックの医療事務職、医療秘書として活躍することができます。

医療事務関連の授業は実務経験を持つ専門講師が少人数制の授業の中で疑問点を解消しながら授業を進めています。医学基礎科目、秘書専門科目、実技と演習を通じて、医療サービスにおける幅広い知識と専門的能力を身につけます。

現在奈良県の短期大学で医療事務の基礎科目から実技演習科目まで備え、資格取得、更には医療秘書検定の対策講座まで受けることができるのは本学のみとなっています。

ビジネスキャリアコースでは多様な入学生のニーズに応えられる様に、幅広い進路選択の取れる科目の充実、整備を進めています。



## 表現遊びフィールドの学外演習を経験して

こども保育コース 生駒 英法

11月12日に地域こども学科1回生表現遊びフィールドの学生5名により、奈良市立飛鳥幼稚園の4歳、5歳の子どもたちを対象にペープサートの発表を行いました。演目は「おむすびころりん」と「おおきなだいこん」です。ペープサートは全て学生の手作りで、準備は半年前から始めました。はじめに、どういった内容にするのか本学の図書館で絵本や紙芝居を調べ、子どもたちには、どのような内容が楽しいのか、また、分かりやすいのかをイメージしながら行いました。演目が決定したあと、台本を作成し、基のストーリーをペープサート用に分かりやすく変更しながら行う作業を行いました。その後、ペープサートで動かす人形や背景などを一つひとつ描き、実際に人形を動かしながら演技練習を何度も行いました。

そして本番当日、はじめ、学生たちは緊張した面持ちでしたが、子どもたちがホールへ入室すると表情が緩み、笑顔で子どもたちと挨拶をしていました。

1つ目の「おむすびころりん」では、おむすびがコロコロ転がったり、途中で歌をうたうシーンもあり子どもたちは、楽しんで観てくれていました。2つ目の「おおきなだいこん」は絵本「おおきなかぶ」を少し変形させた内容

で、ライオンやオオカミ、孫が作ったロボットが登場人物として登場します。だいこんを抜くシーンでは「うんとこしょ、どっこいしょ」の掛け声を子どもたちと一緒に言い、ホール全体が楽しい雰囲気になりました。最後に皆様から拍手や園長先生からの温かいお言葉をいただき、大成功に幕を閉じました。

この経験は、学生にとって良い刺激になったと思います。これからも、表現遊びフィールドでは子どもたちが笑顔になるようなものを考え学んでいきます。

最後に奈良市立飛鳥幼稚園の皆様には、発表の場をご協力いただきありがとうございます。



## こども教育コースの取り組み

こども教育コース 大石 祥寛

今年度はコロナウイルスの影響を受け予定していた取り組みを中止・変更することとなったものの、こども教育コースでは1、2回生の学生は限られた取り組みの中から多くの学びを得て成長したように感じられました。

## (1) 2回生の取り組み

2回生は、「学びの連続性」を大きな柱として活動を行いました。10月には、実習校のご理解のもとに小学校教育実習を実施することができ、小学校校長・指導教員等による丁寧で心温かいご指導により2回生6名全員が最後まで明確な目標をもって意欲的に実習に取り組むことができました。

1月の成果発表会および保育・教職実践報告会では、学生一人ひとりが思いをのせて2年間の学修の成果を発表いたしました。

## (2) 1回生の取り組み

1回生は、ゼミナールI（6月～9月）の時間に農園活動を行いました。この農園活動は、草引き、間引き、誘引、施肥、収穫といった作業を行いながら栽培知識と技能を習得するとともに、「命と向き合う」ことについて考えていくこと、農園活動を通して学習指導・生活指導の在り方を考えていくことを目指しました。

初めて行う作業に戸惑いながらも和気あいあいと活動することができました。

## 【農園活動で育てた作物】

- オクラ ○かぼちゃ ○きゅうり ○黒豆
- とうがらし ○とうもろこし ○人参
- ピーマン ○ミニトマト ○へちま ○わた
- 朝顔 ○ひまわり

## (3) ラウンドテーブル

2021年1月7日にこども教育コース恒例のラウンドテーブルを実施しました。このラウンドテーブルは、2回生の教育実習の経験を1回生に伝えて1回生が教育実習に臨む意欲を高めるとともに、1回生の悩みや疑問を解決するために実施しているものです。

2回生がそれぞれの経験を分かりやすく熱く語り、1回生が熱心に聴くといった、とても有意義な時間を過ごすことができました。



学内講師による公務員試験対策講座

学生・キャリア支援センター長 西岡 由郎

本学でも公務員を目指す学生が増え、人気のある職種になってきています。しかし、公務員試験の出題範囲は多岐にわたるため、日頃から計画を立てて受験対策をしたり、モチベーションを維持したりすることが大切です。

学生・キャリア支援センターでは、公務員を目指す学生を対象に学内講師による公務員試験対策講座を開講し、合格に向けて必要なプログラムを提供しています。開講種別は入門講座、基礎講座、実践講座とし、講座への参加を促しながら公務員になるために必要な準備、学習方法、筆記試験・実技試験・面接試験への対応、提出書類の作成方法などをテーマに取り上げてきました。また、本講座は、希望する学生全員が受講できるように学内での開講時間帯にも配慮してきました。

さらに、本講座の開催は公務員試験への受験対策にとどまらず、就職を目指す学生が業界研究や職種研究、企業研究を通じて入職意識を向上させているという面でも効果を上げています。

また、学生・キャリア支援センターでは、学生一人一人の悩みや不安を解消するために、センター職員が様々な機会を捉えて個別に学修相談をしたり、合格するために必要な学修スケジュールのチェックを助言したりしています。「やれば合格する」、それが公務員試験です。2～3月にも集中講座の開講を予定しており、引き続き学生が粘り強く着実に取り組んでいけるように支援したいと考えています。



障害学生修学支援センター

障害学生修学支援センターの取り組み

障害学生修学支援センター長 井関 二三夫

本学では、学生の抱く修学に関わる心配ごとや学生生活を送る上での困りごとに、従来から担任教員をはじめとして、専属教員（PT：Personal Teacher）にカウンセラーや学生・キャリア支援センターが一人ひとりにきめ細かな相談、支援を行い、安心して学業を進めていけるよう対応してきました。

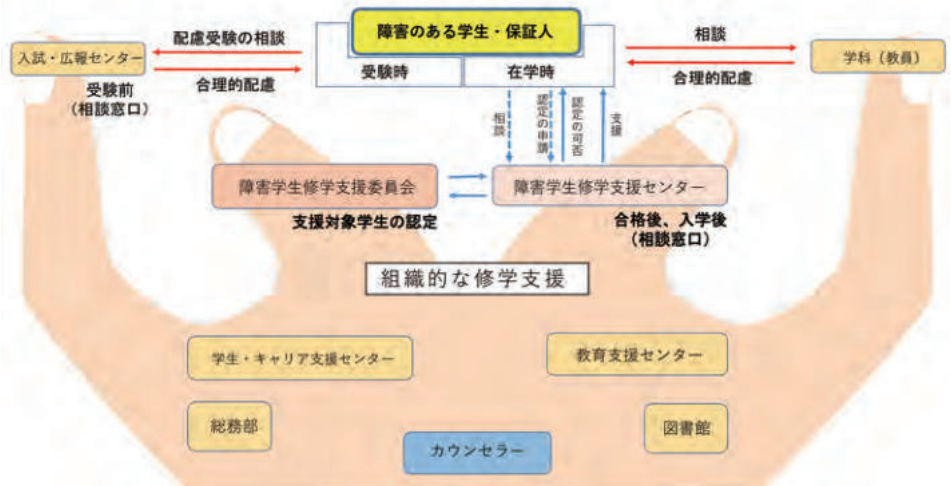
さらに、2021年度には、障害を理由に修学を断念することがないように、新たな支援の取組を始めました。具体的支援や配慮の提供に当たっては、組織的に進められるよう、障害学生修学支援委員会と障害学生修学支援センターを設置しました。

学生や保証人からの相談を基に、委員会で支援や配慮が必要な学生を認定した後、当該学生が履修している科目の担当教員を中心に支援のあり方を検討し、カウンセラーとの調整、当該学生や保証人との面談を経て支援内容を定めています。

授業を受け持つ教員をはじめ、学生が所属する学科の教員やカウンセラー、事務局職員も含めて、学生に寄り添いながら目標の実現に向けて支援、配慮に取り組んでいます。

毎日の授業や定期試験などの修学における支援、配慮だけではなく、学生生活上の困りごとへの配慮や就職の方向性も見据え、学生本人の立場に立ちながら自立を促す支援、配慮に努めていきたいと考えています。

障害学生修学支援の連携・支援体制





遠隔授業の取り組み

教育支援センター長 勝田 麻津子

2020年4月2日の入学宣誓式を経て間もなく、緊急事態宣言下の中で新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本学においても6日から全学登校禁止となりました。本来ならば、すべての授業を休講とし、社会状況を踏まえた上で、「対面授業」開始にあわせて授業を開始したいところでした。しかし、各種資格・免許取得に伴う学外実習期間の延期や中止への対応が予想され、本学では、授業実施回数を確保するという観点から、休講することなく4月13日(月)から5月末までの7回授業を直ちに「遠隔授業」で実施することと致しました。

当時は本学情報システムを教職員および学生が利用するにあたって、学外からのアクセスができない状況であったため、教員は急遽Google formやClassroomを活用した「遠隔授業の準備」に取り組み授業対応を致しました。また教育支援センターでは、saho naviの掲示板により遠隔課題の配信および提出の確認業務を徹底して行い、学生の学習内容の習得に支障が無いようにするため、6月の対面授業が始まるまで、休む間もなく業務に取り組みました。

その中で、ICT活用推進に向けて見えてきた課

題および成果として、saho naviシステムを活用した「授業実施」結果確認や学生自身による出欠確認・課題提出確認が大切であること、対面授業においてもChromebookを活用することで、授業展開を円滑に進めることができることを実践の中で学びました。

今後は、2021年2月より本学システムに学外からアクセスできるようになったこと、さらに2021年全入学生がChromebookを所持することなどから、教務業務の合理化のみならず、授業内容の充実と深化に向けて、より一層工夫をこらしてまいりたいと考えます。



自己点検評価室

自己点検評価室の取り組み～令和元年短期大学生調査結果より～

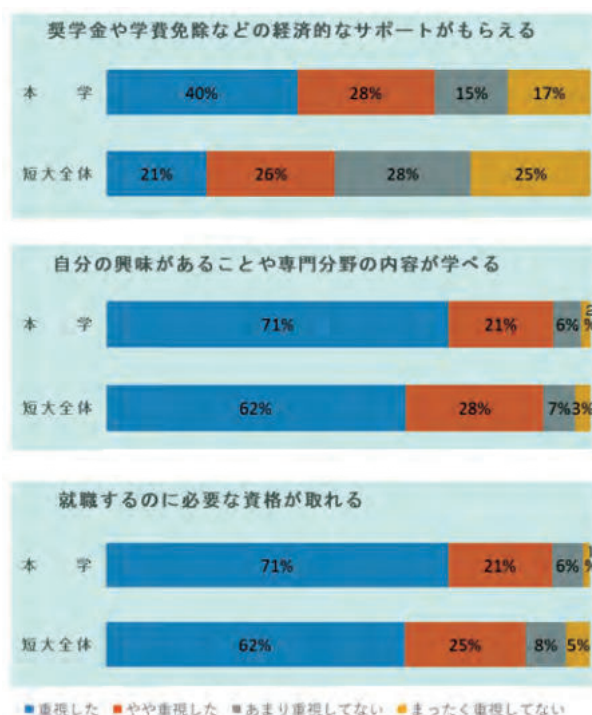
藤本 友宏

自己点検評価室は、本学における教育研究活動等の状況を本学が自ら点検及び評価し、その改善に継続して取り組んでいます。具体的な取り組みのひとつ短期大学生調査をご紹介します。

この調査は、自校の強みや弱みを把握してマーケティングやエンrollment・マネジメントへ利用可能な、短期大学の特質に即した精度の高い学修効果を測定する手段として自己点検・評価資料として活用することができます。さらには全体のデータを活用することで、短期大学の教育を充実させ、コミュニケーションカレッジとして情報発信を図り、短期大学についての学術研究の発展に貢献することを目的として行われているものです。本学では昨年度より実施しており、その調査結果から以下のようなことが明らかになりました。「あなたが今の短大に進学を決めたとき、次のことはどのくらい重視しましたか」という質問に対して、「奨学金や学費免除などの経済的なサポート」、「自分の興味がある専門分野の学び」「就職に必要な資格」の項目で、本学は特に高い割合になっています。

短期大学への進学を希望する学生は、自分の進むべき方向をしっかり考え、また様々な魅力や将来進みたい夢や希望を考えて、自分の進路にふさわしい学校を選んでいきます。短期大学は

短い期間で資格を取得し、社会に役立つ即戦力として身近な存在です。この強みを生かして学生が2年間で実学を身につけ夢に向かって羽ばたける学びの場を整えていきたいと思えます。



ICT教育の推進について

情報メディアセンター長 阪口 弘

情報メディアセンターでは、学内全体のネットワーク、セキュリティ、サーバ、パソコンなどの情報機器の管理や、ICT（Information and Communication Technology：情報通信技術）を活用した学修環境の整備など、学生の皆さんや教職員方の業務を支える情報システムの構築に取り組んでいます。

今年度は新型コロナウイルスの感染対策として、遠隔授業を実施する際に、学生の皆さんが自宅のパソコンなどから授業に関するデータを見ることができるよう対応を図りました。

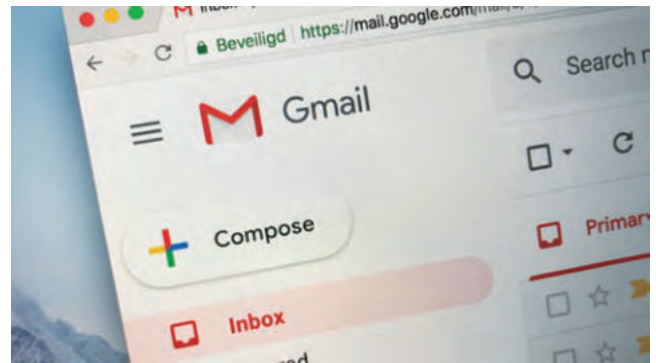
具体的には、インターネット上でのファイル共有システム（Dropbox、Googleドライブ）の利用を推進し、各先生方から学生の皆さんへのデジタル情報の配信を実施しました。しかしながら、緊急事態宣言発令直後の急な対応となったため学生の皆さんや教職員の方々には十分な説明が出来ないままの利用開始となったこと、誠に申し訳なく思っております。

また次の対策として、Google社と契約し、教育機関向けシステムG Suite for Educationを導入しGoogleアカウントを取得しました。これにより大学専用のGmailが利用でき、かつ、既存の大学が配布している電子メールアドレス@narasaho-c.ac.jpのまま、Gmailシステムへの移行を実施しました。これらを受け、学生の皆さん

全員に大学専用のGoogleアカウントを配布し、Gmail、Google Classroom、Googleドライブの利用を、当初の予定より学修3ヶ月前倒しで開始し、既に授業等で活用頂いています。

次に無線LAN（saho-Wifi）のアクセスポイント(AP)を既存の14ヶ所から18ヶ所に増設しました。これにより、全ての教室でsaho-Wifiが利用できる環境が整備されました。（但し、体育館を除く）

また、来年度新入生からは、Chromebook（Chrome OSを搭載したノートパソコン）の必修を推進しており、これらの活用に向けサポートしていきたいと思っています。



入試・広報センター

ユーザー（学生）からメーカー（職員）へ ナラサホの「変わらないもの」

中島幸大

昨年、本学を「学生」として卒業し、改めて「職員」として入職いたしました。広報担当として、広報媒体の作成・進路ガイダンスへの出席・オープンキャンパスのコーディネーターなど多岐にわたって本学のPRに係わる業務をしています。

立場や環境が変わったとしても、その中で見出すことができた、本学に対して変わらないもの。それは、「どの学生に対しても手を差し伸べようとする姿勢」でした。ですが、その姿勢はチャラシやオープンキャンパスでは、中々伝わりづらいのが現状です。

取れる資格・卒業先の就職と“目に見える”ものに意識が行ってしまいがちですが、それらはどの大学に入学したとしても得られるものであり、だからこそ、姿勢など“目に見えないもの”に焦点を当てて大学をPRしなければならぬと実感しました。

本学で時間と場所を使う「ユーザー（学生）」として“観てきたもの”と、今度はその時間と場所を提供する「メーカー（職員）」として“観てくるもの”。その両方の立場で観ることのでき

る「稀有な存在」ということを自覚し、「何ができるか」を常に考え、本学に恩返ししていきたいと思えます。





## 新しいサービスと変わらないサービス提供を

能瀬 澄美

2020年度は、新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、奈良県の緊急事態宣言に伴い、4/23～5/10まで休館といたしました。5/11以降は、原則休館とし、実技科目など対面授業で来校する必要がある学生さんに、返却・貸出のみのサービス再開し、6/1からの対面授業実施後は、感染予防を徹底した上で、図書館サービスを継続しています。

①3つの密（密閉・密集・密接）を避けるため、館内席数の半減、②ロッカー番号による座席指定、③閉館後の消毒、④入口の手指消毒用アルコール設置、⑤カウンターの飛沫防止フィルム設置等の感染対策を行っています。

休館時には、来学できない学生の学びをサポートするため、出版各社が無料で公開した電子書籍等を「期間限定含む無料で利用できる電子書籍等サイト」及び「遠隔学習に活用できるサイト」としてまとめ、5/5からウェブサイト等で公開し、遠隔授業の一助となるよう努めました。

また例年4月に新生を対象とした「文献の探し方・図書館の使い方」講習会を、各学科・コースごとに密を避けながら、少人数に分けて全ての新生に実施することができました。

図書館で扱う資料形態は、図書・雑誌・視聴覚資料・インターネット資料・電子書籍と幅広く、様々な情報源の中から正しい情報を得るために、情報の調べ方・情報源の取り扱い方を学

生の皆さんにお伝えしています。今年度は、3つの密を避け、短時間で講習ができるよう、「レポートを書くために使った情報源を参考文献リストに書くときは、どうすればいいの？本の場合、雑誌の場合」資料も作成いたしました。

遠隔授業の際にも利用できる新たなサービスとして、丸善雄松堂（株）の「Maruzen eBook Library（学術書籍に特化した機関向け電子書籍配信サービス）」と契約し、第1弾として、8/5から「化学大辞典」電子書籍の提供を始めました。2/8現在、下記のような16タイトルを提供しています。

学内のネットワークに接続されているパソコンならどこからでも利用でき、また事前に学内で登録手続きをすることで、学外からも利用することができます。今後も、学生の皆さんに有用な資料を様々な形態で提供できるように努めていきたいと思っています。

## 「Maruzen eBook Library」

学内LANに接続している端末にて、以下のURLから利用できます。

<https://elib.maruzen.co.jp/elib/html/BookList/>

## 2021.2.8現在の電子書籍タイトル

	タイトル名	出版社
1	化学大辞典 第1巻～第10巻	共立出版
2	発酵食品学	講談社
3	はじめての基礎化学実験	オーム社
4	47都道府県・伝統行事百科	丸善出版
5	47都道府県・伝統食百科	丸善出版
6	47都道府県・地野菜/伝統野菜百科	丸善出版
7	栄養士・管理栄養士をめざす人の基礎トレーニングドリル	化学同人
8	食と栄養を学ぶための化学	化学同人
9	おいしい料理のサイエンス：見て納得：いつもの味が生まれ変わる極上レシピ	化学同人
10	世界の郷土料理事典：全世界各国・300地域料理の作り方を通して知る歴史、文化、宗教の食規定	誠文堂 新光社
11	炊きこみご飯・おにぎり (全集伝え継ぐ日本の家庭料理)	農山漁村 文化協会
12	炊きこみご飯・おにぎり (全集伝え継ぐ日本の家庭料理)	農山漁村 文化協会
13	魚のおかず：いわし・さばなど (全集伝え継ぐ日本の家庭料理)	農山漁村 文化協会
14	肉・豆腐・麩のおかず (全集伝え継ぐ日本の家庭料理)	農山漁村 文化協会
15	野菜のおかず：秋から冬 (全集伝え継ぐ日本の家庭料理)	農山漁村 文化協会
16	小麦・いも・豆のおやつ (全集伝え継ぐ日本の家庭料理)	農山漁村 文化協会



## コロナ禍の子育て支援

子育て支援センター長 和田 公子

奈良市の委託を受けて学内3号館1階に開設している子育て支援センター「ゆめの丘 SAHO」をご存じでしょうか。

主に0歳児から3歳児までの子どもをもつ親子が集う子育て支援センターです。大学内に開設していることで、学内の様々な施設を活用したり、教員、学生の皆さんとの関わったりできることが、本センターの大きな特徴でもあります。

例年は、センターの広場に学びの場を設けたり、学内イベントに参加させてもらったりと子育て親子が日ごろ出会うことの少ない若い世代と触れ合う機会を持っています。

しかし、4月、5月は新型コロナウイルス感染予防のため自粛して、センターは閉鎖。その後も利用者が互いに密になることを避けて、利用者数を制限しています。このことによってセンターへの学生の出入りを控えています。

実習では関わることのない親子と出会うこと

で、学びが広がり深まると期待して、センターを学生に提供していましたが、今年は残念ながらそれも叶いません。

今、子育て親子にとっての安全で安心な居場所が求められています。利用者は「センターが閉鎖されると子どもを連れて行くところがなくなります。」と不安の声があがっています。子どもの遊び場として、お母さん同士の情報交換の場として、不安や悩みを話せる場として、なくてはならない子育て支援センターとして、毎日を緊張感を持って運営しています。

今年の秋は、温かい日差しが差し込む日が多く、運動場の西隅にある砂場は親子の憩いの場になっていました。

学生のみなさん、砂場で遊んでいたことや運動場をかけ回っていたりする姿を見かけたら近くに見に来てください。もちろんマスクをして、手の消毒をして。



広い運動場をよーいドン!!



「ゆめの丘」花壇の中の皇帝ダリア



小春日和の中でお砂場遊び





花のある町づくりのために

地域こども学科 木田 一芳

今年も「花いっぱい運動」を実施しました。過去2年間は、広報ボランティアの学生で実施してきました。今年は、地域こども学科「自然と遊びフィールド」の学内農園班の学生も参加しました。

花いっぱい運動を実施するため、学内農園「夢の丘SAHOファーム」を活用して4月にケイトウ、7月にハボタンのたねをまき栽培を始めました。その後、ケイトウは4色をセットにして600株、ハボタンは紅白をセットにして100株を、学生が大学周辺の家を一軒ずつ訪問して草花苗を無料配布しました。地域の方からは、「笑顔」と「いつもありがとう」等の言葉をたくさんいただきました。

一方、学内では、バス停から入ったところにある大型花壇（小山）に、夏はケイトウ、冬はハボタンを幾何学模様で植栽しました。そして、コロナ禍で困難な生活を強いられている皆さんにマリーゴールドの花言葉「逆境を乗り越えて生きる」を送ろうと、大型花壇の向かい側にある花壇にケイトウとマリーゴールドを混植して花言葉花壇を製作しました。

また、柳の伐採跡地を活用して、一辺2mの正方形花壇を3面製作しました。うち1面にピオラを1輪の花をモチーフに植栽し、残りの2面にチューリップの球根100球を植え付けました。

4月に様々な鮮やかな色で開花するチューリップが待ち遠しく楽しみです。



花壇にケイトウとマリーゴールドを混植



大型花壇に2色のハボタンを幾何学模様で植栽



柳の伐採跡地を活用して正方形の花壇を3面製作



大型花壇にハボタンを植え付けている学生

彩りのある世界に戻ることを願って～竹あかりの取り組み～ 生活未来科ビジネスキャリアコース2回生 和井内 彩花

「みんなの<sup>そうか</sup>想火」全国47都道府県で竹あかりを灯すプロジェクトに3月に出会い、私は奈良県のリーダーとしてこのプロジェクトに参加しました。

本来、この竹あかりは、オリンピック開催に向けて『日本の「和の精神」で世界へおもてなしの心を伝える』が目的でした。しかし、新型コロナウイルスの影響でオリンピックもなくなり、感染拡大してきている中で、私に何が発信できるのだろうと悩み、正直、奈良県代表という事にプレッシャーを感じていましたが、たくさんの方のご協力があり、無事完成することができました。

灯かりの中心には「彩」という文字を作りました。この文字に込めた思いは新型コロナウイルスの影響で世の中が沈んで

いる中、「皆さんが元の笑顔を取り戻してほしい、元の彩った世界に戻ってほしい」という意味を込め作りました。見に来てくださった方にどう届いたかわかりませんが、この竹あかりをきっかけに皆さんの笑顔が少しでも増えていたらと思います。



## ドクターヘリとランデブーポイント

防災・環境委員長 木田 一芳

本学がドクターヘリのランデブーポイントに2020年8月1日より指定されました。フジテレビの医療ドラマ「コード・ブルー」でご存知のドクターヘリです。

ドクターヘリは、予め定められている「ランデブーポイント」に着陸し、そこで救急車両と合流します。このことは、地域はもちろんのこと本学の安全安心の向上につながります。

指定の経緯は、本学周辺にランデブーポイントが少なかったこと、2019年度の地域防災避難訓練で本学グラウンドにドクターヘリが着陸したことがきっかけとなり、ドクターヘリのランデブーポイント指定に向けた地域住民説明会等が行われました。

並行して、大学ヘランデブーポイントの要請があり、本学は地域貢献として快諾しました。

ドクターヘリは、救急医療用の医療機器などが装備され、基本的にフライトドクター・フライトナース・操縦士・整備士の4名が搭乗して出動します。

医師による治療が早く開始でき、患者の救命率の向上や後遺症の軽減などが期待されています。また、患者を最大2名まで搬送することができます。

ドクターヘリによる搬送に伴う費用については、患者の負担はありません。ただし、医師が救急現場やヘリコプター内で行った医療行為については、医療保険制度に基づき医療費がかかります。

### ドクターヘリ着陸時のお願い

- ① 消防署から大学にドクターヘリ着陸の要請電話が入ります。
- ② 正門を全開します。（消防車・救急車が入りやすいようにする）
- ③ 消防車がグラウンドに放水します。（砂の舞い上がりを防ぐ）
- ④ グラウンド内に入らないように。【来学中の皆様にご協力いただきたいこと】
- ⑤ 1号館・3号館前の駐車場は使用禁止します。【来学中の皆様にご協力いただきたいこと】



## 同窓会 あせび会

### 学生への支援

新型コロナウイルス感染症拡大により、全国の大学で学生生活の継続に支障をきたしている報道が流れています。そのような中、母校でも同様の状況であるとお聞きしました。

同窓会あせび会として、後輩のために何かできないかと考えました。そんな時、学生からレストランでの定食に汁物が欲しいという意見を聞いたので、同窓会として、「学生レストラン」に即席みそ汁などを提供してはどうか。

レストランを利用する学生、お弁当を持参している学生、誰でも温かい汁物を飲めるようにしてはと考え、無料提供することにしました。利用している学生からは、とても喜んでいただいています。

新型コロナウイルス感染症が終息しない中、同窓会あせび会として、これからも学生支援をいろんな形で支援していきたいと考えています。



### 同窓会あせび会 事務局





## 生活未来科 生活福祉コース1回生

奈良佐保短期大学の生活未来科に合格した知らせをもらった日はとても嬉しかったです。私の夢は良い介護士になりたいために、日本に来ました。生活未来科に合格したことは私にとって実現するための最初の第一歩です。その喜びのほかにも、多くの心配事もありました。自分の日本語のレベルは大丈夫かなあ、介護の専門的な勉強について行けるかなあ、日本人と一緒に勉強ができるかなあ、様々な心配なことがありました。

入学から今まで7か月が経ちました。先生や友達の助けのおかげで、心配事が減りました。生活未来科生活福祉コースで高齢者・障害者の特徴が初めて理解でき、高齢者がよくある病気を深く学ぶことが出来ました。様々な支援技術を身につけられます。

## 生活未来科ビジネスキャリアコース1回生

私は、2020年4月より奈良佐保短期大学生活未来科ビジネスキャリアコースで学んでいるYENです。

普通は新しい学校に入る際、期待に胸をふくらませて、張り切るものかもしれませんが。私の場合は、入学当初はとても不安で寂しい気持ちでした。クラスでは外国人留学生が一人であった事もあり、友達もいなく、日本語での授業も難しく感じていたからです。その上、新型コロナウイルス感染予防のため遠隔授業が始まり、わかりにくく、本当に困りました。その時は、国へ帰りたくまで思いました。しかし、私のことを心配して欲しくないで、両親には話しませんでした。そこで、コースの先生と頻りにメールのやりとりをしていました。学校には、性別、年齢、国籍を問わず、誰でも公平に勉強を教えてくれる人がいることに段々気がつきました。

6月に対面授業が始まり、先生とクラスメイトと会えるようになって、大学生活に更に慣れていきました。みんなとても優しくて熱心で手伝ってくれて、本当に良かったです。今では、私にとって学校は二つ目の家族の様です。授業を受けるたびに新しい知識が得られるだけでなく、グルー

## 日本語教育別科

日本に来たばかりなのにもうすぐ日本語教育別科を卒業します。時の過ぎゆく早さに驚くばかりです。

日本に来る前は、日本についてわからないことばかりでした。日本のお天気は、日本人は、日本の文化は、日本での生活は…?

そのうえ、日本人の先生や、まだ友達になっていない人と一緒に勉強するのはどうだろう？うまくいくだろうか？

家族を離れて、日本に来てすべてのことが初めてでした。生活の中でも、学校のことで、病院でのアルバイトでも、人とつながることで、色々困ったことがあり、大変でした。その一番大きな理由は、日本語がまだ十分わからなくて、日本語で会話できなかったからです。けれども、先生方が優しく親切で、易しい日本語で問題をよく説明してくださいました。そのため、毎日だんだん日本語力が上がってきました。本当によかった

## MA THI THANH (マーティタン)[ベトナム]

今まで介護は利用者のできないことを介助することだと思っていました。しかし今、介護するにあたって必要なのは、身体の介助だけではなく、心身も介助する必要があり、穏やか生活が送れるように介助することだと思っています。

これから私にとって困難なことがいっぱいあると思いますが、毎日、自分の役に立つ知識を学び、友達と楽しい時間を過ごせるように努めようと思います。



## CAO THI YEN (カオ ティ イエン)[ベトナム]

プワークによって、いろいろな体験ができて、就職にも役立つと感じています。

大学1年間の学校生活は、最初大変な状況でしたが、対面授業が始まってからは楽しことがたくさんあり充実したものでした。入学当初は「これから2年の長い大学生活が始まるぞ」思っていました。今、気がついたら、卒業まであと1年と少しとなり、本当にあつという間の学生生活です。

大学で自分の好きなビジネスの科目を学んだ後、卒業後は、日本の会社で好きな仕事を打ち込んでいけるようになりたいです。たくさん友達ができて、クラス活動や学校生活での様々な事がたくさん思い出ができる大学生活は私にとっての宝物です。奈良佐保短期大学に入学できて、本当に良かったです。先生、クラスメイトのみんな、心から感謝しています。ありがとうございます。



## NGUYEN THI HA LY (グエン ティー ハ リー)[ベトナム]

です。今は大体日本語で皆と話せるようになりました。生活にもアルバイトにももう慣れました。

先生方とクラスの皆のおかげでいろいろな困ったことを乗り越えることができました。心から本当に感謝したいと思います。

日本語教育別科で先生方と皆と一緒に勉強出来たのは本当にいい思い出でした。

これから、もうすぐ本科に入ります。いろいろな心配がありますが、家族と先生方とクラスの皆はいつも私の側にいて、応援してくれますので本科での勉強は絶対に出来ると思います。自分でもっと頑張ります。



## 学生生活での学びとふれあい

生活福祉コース1回生 大池 隆

月日の経つのは早いもので、入学してからもうすぐ一年になろうとしています。

介護福祉士として高齢者や障害に苦しむ方々のために働きたい。クラスの仲間達と受ける授業や実習を通しての介護福祉に必要な知識と技術の習得は、自身の考え方や人生観さえも変えてしまうほど大きな学びになったと感じています。

そして共に学ぶ仲間達とのふれあいの中で、世代の違いやベトナム人留学生さん達との交流は、色々な考え方や価値観の違いなどに気づかされたり、社会人学生である私にとって毎日が新鮮で驚きの連続でした。

学びとは日々積極的に人と関わっていくことで得られるものなのだと感じました。人はそれぞれ皆違う個性の者同士が互いを尊重し合い、共に助け合い、そして支え合おうとする心がなによりも大切であると思います。

この1年で学んだ知識と経験を活かし、今後一層、介護福祉士資格取得という目標に向かって邁進して行きたいと思っています。



## 給食管理実習での学び

食物栄養コース2回生 音丸 未来

私が2年間で一番頑張ったのは、給食管理実習です。この実習ではグループで献立作成から発注、調理、提供までを自分たちで行います。

最初は班のメンバーとも気を遣い言いたいことが言えず何をすることも時間がかかりました。徐々に言いたいことを言える関係になりましたがぶつかることもありました。

調理は回数を重ねる毎にスキルが上がるのを感じました。仕事が早い、献立が凝っているなど他の班からも影響を受けました。最終回には班の中で自分が得意な分野を積極的にやり、苦手な部分はカバーし合う動きが出来るようになりました。授業時間外もSNSでのやりとりなど、2回生のほとんどをメンバーと過ごしたことで絆が深まりました。実習では給食提供までの過程を知り、調理スキルを身につけ、いろいろな人との関わりが大切であることを学びました。自分では思いつかないことをクラスや班の皆に教えてもらい、先生方にたくさんお世話になりました。ナラサホでの2年間で糧にして今後も頑張りたいと思っています。



## 資格試験に挑戦

ビジネスキャリアコース1回生 桑原 楓花

私は将来医療事務に就きたいと考えています。このことから、医療資格に関する講義を欠かさず受けていました。しかし、内容が難しく、何度も「やめたい」と思いました。ですが、友人達の頑張る姿や、先生方の熱心な指導を受けるうちに、自分も頑張らねばと感じ、勉強に必死で取り組むようになりました。

そうしているといつの間にか、問題も解けるようになり、資格試験にも挑戦することができました。

この文を書いている時点では、資格試験の合否はでていないのですが、もし合格していなくても、そのため積んできたモノは絶対に無駄にならないと私は思っています。ですので、出来ないからといってすぐに逃げず、貪欲に学ぶ姿勢を大切にしたいです。



## バングラデシュから日本に来て ビジネスキャリアコース2回生 HOSEN RAKIB (ホセン ラキブ)

バングラデシュから日本に来て、奈良佐保短期大学の日本語教育別科で1年半、生活未来科ビジネスキャリアコースで2年学びました。日本に来て食べ物の違い、季節の変わり目の温度変化、日本語など様々な事で困り、最初は本当に大変でした。その中で、日本語教育別科では、言葉遣い、漢字、文法などを学び、今では日本語を上手く話すことができるようになりました。

また、ビジネスキャリアコースでは、今後社会に出て行く為に必要な知識を学びました。インターンシップでは、普段中々行くことができない場所に行け、授業で練習したビジネスマナーなどを実践にすることができ、その経験のおかげで就職活動を順調に進めることができました。そして、奈良佐保短期大学は少人数の為、ビジネスキャリアコースだけでなく、他のコースの方とも友達になることができました。自分から声をかけて友達を作り、困ったことがあれば、その友達に手助けをしてもらい、様々なことを教えてもらいました。そのおかげで、日本での生活がうまくできる様になったので、奈良佐保短期大学に入学して良かったなと思いました。





## 保育士になること

こども保育コース1回生 内海 菜々花

私は高校3年生の時に自分が本当にやりたいこと = 夢が決まりました。保育士になることです。

保育士・幼稚園教諭資格を取得することのできる奈良佐保短期大学に進学しました。保育士になるためにはピアノは必須ですが私は未経験でピアノを弾くことができるのか不安でいっぱいでした。ですが、音楽の授業では基礎から学ぶことができ、9月に行った幼稚園実習では子どもの前でも緊張することなくピアノを弾くことができました。

これからも、子どもたちが安心して過ごすことができ信頼される保育者を目指し頑張ります。



## 新たな発見

こども保育コース2回生 福井 亮

私は幼稚園・保育所の先生になるためにこの奈良佐保短期大学に進学することを決め、入学しました。ですが実際に実習を5回経験する中で自分には幼稚園・保育所の先生は務まらないと感じました。しかし子どもに関わる仕事がしたいという気持ちに変わりはありませんでした。

そんな時に子どもたちの運動指導を行う先生という道があるということを知りました。

幼少期の運動経験が後の運動機能にすごく作用することを学校の授業で習い、子どもたちが体を動かすことを心から楽しめるような運動遊びを提供していきたいという考えを持ち、運動指導の先生になりたいと思いました。さらに昔から外で体を動かして遊ぶことが好きでその楽しさを子どもたちに伝えたいということもなりたいたと思ったきっかけでした。

この2年間は人生の中でも大きな転機となる2年間となりました。



## 初めての遠隔授業

こども教育コース1回生 巽 光代

今年は新型コロナウイルスの影響で4月から5月末まで遠隔授業となり、右も左も分からない状態で大学生活がスタートしました。遠隔授業に苦戦しながらも1つ1つの課題に向き合ってきました。

6月からの対面授業では、幼稚園の園長や小学校の校長を経験された先生など、保幼小の現場を熟知されている先生方から具体的な事例を聞くことができました。

9月の1週間の幼稚園実習では園も大変な時期に行かせていただきましたが、子どもたちは特に免疫力が低いので、感染症対策についても学ぶことができました。

私たちは2年間という短い期間で勉強し、社会に出ていきます。毎日忙しく課題も多くありますが、将来の自分のため、子どもたちのために、残りの学生生活も楽しながら頑張りたいと考えています。



## 対面の大切さ

こども教育コース2回生 原田 龍ノ助

今年度は新型コロナウイルスによって時間の大切さに気付くことができました。4月から5月下旬まで遠隔授業を受けました。対面授業ではないので感染防止に繋がったと思いますが、一コマの授業にかける時間が昨年と比べると圧倒的に減りました。しかし、ゆっくりと課題に取り組むことができたためメリットもあったと感じました。6月から対面授業が始まると、分からないことなどその場ですぐに聞ける対面授業の良さを改めて感じました。

また、今年度は保育実習Ⅰ、小学校実習、保育実習Ⅱと実習が3か月の間に立て続けにありました。短い期間にこの3つの実習を立て続けに経験したことにより、子どもの姿をたくさん見て、比較することもできたので子どもたちに対する理解も深まりました。小学校実習ではより一層小学校教諭になりたいと強く思いました。



学友会長 生活未来科 食物栄養コース2回生 上村 彩夏

私が学友会会長を務めてから、1つ目に行った行事は新生歓迎会でした。先輩方が卒業してすぐに、役員全員が集まり会議を開き、案をたくさん出し合い企画を順調に進めていました。しかし、3月頃から新型コロナウイルスの流行により感染防止の為に休校となってしまい、4月に行うはずだった新生歓迎会は中止となってしまいました。そのため1回生との交流ができなくなったので、オリエンテーション時に「今、不安なことはありますか?」というアンケートを作って1回生に配りました。授業再開時に回収して集計してまとめ、1回生が安心して学生生活を送れるようにという思いを込めて2回生からのアドバイスなども一緒に掲示しました。

2つ目の行事は七夕です。7月に学生ホールに学生の皆さんの願いが込められた短冊を笹に飾ることが出来ました。

去年は夏に護国神社のお祭りに参加しわらび餅を作って販売したり、大学祭ではボランティア、学友会行事ではビンゴ大会なども行いまし

た。ビンゴ大会は結構好評でした。思い返すと、良い経験をさせていただきました。

私たち学友会は学生の皆さんに楽しんでもらえるような行事等を考えています!

今年度は新型コロナウイルスの影響により、行事等が出来ませんでした。が来年度は状況が落ち着き、大学祭や学友会行事等をたくさん出来ることを願っています。



学長賞の受賞者

生活未来科 生活福祉コース2回生 NGUYEN THI HUONG (グエン ティー フォン)

2年前、入学の面接試験に「フォンさんは大学生の2年の間、何がしたい?」と教員に聞かれ、私は「勉強以外に、様々なことを体験して充実した学生生活を送りたい」と答えました。

この目標を達成するためにこの2年間、勉強とともにボランティアや課外活動・行事だけではなく、留学生向けの交流の場にも意欲的に参加するようになってきました。その中、学校の職員の方が紹介してくださった世界平和女性連合(WFWP)が開催する女子留学生弁論大会が一番印象に残っています。

この弁論大会は奈良県内の学校で勉強している様々な国から来た留学生が参加して、留学生活や目的、関心を持っていることなどについて自分の考え方を発表し、話し合うことができます。そのため、日本語学習の機会にとどまらず、自分の考え方を主張して皆に聴いてもらえることで、私は他人に認められていると感じ、これからの社会生活に対する自信にもなっていると思います。又、留学生同士で交流を持つことによって留学生活上の不安や喜びを共有できて気分転換になり、各々の国についての理解や知識も広げられました。

奈良佐保短期大学の職員の皆様のご配慮に感謝しています。教員の方のご紹介のおかげで有益で素敵な交流の場を知り、自分の留学生生活をより充実させることができました。この弁論大会

を通して若者である私は身近なことだけではなく、社会的な問題等にも関心を持ちシェアを広げて、自分の意見を発信していく必要があると学びました。





## 2020年度 奈良佐保の取り組み

4月	2日	入学式	11月	14日	特設オープンキャンパス
	3日～4日	オリエンテーション		19日	第3回お仕事相談会
	13日～	新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、遠隔授業開始		20日	大人のオープンキャンパス
	19日	第1回オープンキャンパス(中止)		28日	学校推薦型選抜(公募)1期・学校推薦型選抜(指定校)・総合型選抜(面談)入試・社会人入試・外国人留学生入試(国内)
5月	16日	第2回オープンキャンパス(中止)	30日	公務員試験対策講座	
	～31日	遠隔授業	12月	1日	公務員試験対策講座
6月	1日～	対面授業開始		3日	地域子ども学科「自然と遊びフィールド」の学生が学内農園産「葉ボタン」を地域へ配布
	7日	第3回オープンキャンパス		4日	第4回お仕事相談会
7月	1日	公務員試験対策講座		5日	特設オープンキャンパス
	8日	公務員試験対策講座	6日	食物栄養コース「フットサル施設ソリアフィールド」奈良1周年記念イベントに出店(奈良市内)	
	12日	第4回オープンキャンパス ピアノ無料講習会 一人暮らしツアー	11日	生活未来科 生活福祉コース 「事例研究発表会」	
	15日	公務員試験対策講座 第14回女子留学生日本語弁論奈良県大会 最優秀賞、優秀賞、敢闘賞を受賞(生活福祉コース3名)		第5回お仕事相談会	
	22日	公務員試験対策講座	18日	大人のオープンキャンパス	
	23日	本学農園産のケイトウを使って「夏の花いっぱい運動」で地域へ配布 「竹あかり」イベントに参加(場所:奈良県護国神社)	22日	公務員試験対策講座	
	31日	本学農園産のケイトウを使って「夏の花いっぱい運動」で地域へ配布	1月	5日	地域子ども学科「保育・教職実践報告会」
	8月	1日		ドクターヘリのランデブーポイントに指定される	7日
8日		特設オープンキャンパス		12日	地域子ども学科「保育・教職実践報告会」
22日		第5回オープンキャンパス ピアノ無料講習会 一人暮らしツアー		14日	生活未来科 食物栄養コース 「学外実習報告会及び給食管理実習報告会」
26日		奈良県立磯城野高等学校ヒューマンライフ科入浴体験実習	16日	自主的活動評価入試・学校推薦型選抜(公募)2期・総合型選抜(面談)入試・社会人入試・外国人留学生入試(国内)	
30日		特設オープンキャンパス	19日	地域子ども学科「保育・教職実践報告会」	
9月	5日	自主的活動評価入試	21日	生活未来科 ビジネスキャリアコース 「卒業研究発表会」	
	13日	第6回オープンキャンパス ピアノ無料講習会	23日	進学なんでも相談日	
	18日	学内避難訓練	24日	地域子ども学科成果発表会 新型コロナウイルス感染症のため中止	
	19日	特設オープンキャンパス	2月	6日	生活未来科 福祉フェスタ成果報告会 「Web開催」
	25日	大人のオープンキャンパス		13日	一般選抜・総合型選抜(面談)入試・社会人入試・外国人留学生入試(国内)
10月	11日	特設オープンキャンパス	13日～14日	ミ・ナール「バレンタインフェア」に 食物栄養コース出店	
	15日	第1回お仕事相談会	20日	進学なんでも相談日	
	17日	自主的活動評価入試・総合型選抜(体験・面談)入試・社会人入試・外国人留学生入試(国内)	3月	8日	総合型選抜(面談)入試・社会人入試・外国人留学生入試(国内)
	24～25日	奈良佐保短期大学 大学祭中止		10日	学内農園「夢の丘SAHOファーム」に大型ビニルハウス設置
	28日	食物栄養コース「奈良秋の収穫祭&物産展に出店」		13日～14日	ミ・ナール「ホワイトデーフェア」に 食物栄養コース出店
		第2回お仕事相談会		19日	卒業式・修了式
			27日	第7回オープンキャンパス	

令和2年4月3日(金) 奈良新聞

### 「夢の実現へ励む」

入学式で、18人が新たな一歩

奈良佐保短期大学の入学式が、3日、奈良市鹿野町の奈良佐保短期大学で挙行された。新入生18人が、新たな一歩を踏み出した。

式では、新入生の代表として、入学式で、18人が新たな一歩を踏み出した。式では、新入生の代表として、入学式で、18人が新たな一歩を踏み出した。



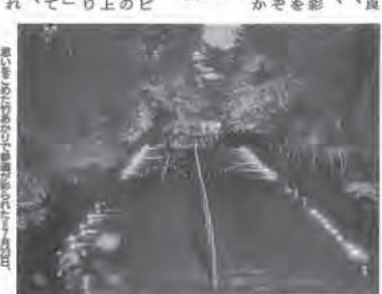
式前には、新型コロナウイルス感染症の予防対策として、各席に消毒液が用意されていた。式では、新入生の代表として、入学式で、18人が新たな一歩を踏み出した。

令和2年8月8日(土) 奈良新聞

### 「竹あかり」に願いを込めて

奈良佐保短期大学(奈良市鹿野町)は、8日、鹿野町の「竹あかり」で、学生有志が、竹あかりの魅力を伝えるイベントを開催した。

当日は、学生有志が、竹あかりの魅力を伝えるイベントを開催した。当日は、学生有志が、竹あかりの魅力を伝えるイベントを開催した。



当日は、学生有志が、竹あかりの魅力を伝えるイベントを開催した。当日は、学生有志が、竹あかりの魅力を伝えるイベントを開催した。

令和2年10月21日(水) 奈良新聞

### 旬の野菜を味わって

奈良佐保短期大学(奈良市鹿野町)は、10月21日、鹿野町の「旬の野菜を味わって」を開催した。

当日は、旬の野菜を味わって、奈良佐保短期大学(奈良市鹿野町)は、10月21日、鹿野町の「旬の野菜を味わって」を開催した。



当日は、旬の野菜を味わって、奈良佐保短期大学(奈良市鹿野町)は、10月21日、鹿野町の「旬の野菜を味わって」を開催した。

令和2年11月13日(金) 奈良新聞

### 令和2年11月13日(金)奈良新聞より抜粋

#### 介護福祉士らの養成支援

奈良佐保短大奨学金決定通知書を授与

奈良佐保短期大学(奈良市鹿野町)は、11月13日、鹿野町の「介護福祉士らの養成支援」を開催した。

当日は、介護福祉士らの養成支援、奈良佐保短期大学(奈良市鹿野町)は、11月13日、鹿野町の「介護福祉士らの養成支援」を開催した。



当日は、介護福祉士らの養成支援、奈良佐保短期大学(奈良市鹿野町)は、11月13日、鹿野町の「介護福祉士らの養成支援」を開催した。

令和2年12月15日(火) 奈良新聞

### 学生支援で白菜配布

奈良佐保短期大学(奈良市鹿野町)は、12月15日、鹿野町の「学生支援で白菜配布」を開催した。

当日は、学生支援で白菜配布、奈良佐保短期大学(奈良市鹿野町)は、12月15日、鹿野町の「学生支援で白菜配布」を開催した。



当日は、学生支援で白菜配布、奈良佐保短期大学(奈良市鹿野町)は、12月15日、鹿野町の「学生支援で白菜配布」を開催した。

令和3年2月14日(日) 奈良新聞

### 手作りお菓子人気

奈良佐保短大生が出店、販売

奈良佐保短期大学(奈良市鹿野町)は、2月14日、鹿野町の「手作りお菓子人気」を開催した。

当日は、手作りお菓子人気、奈良佐保短期大学(奈良市鹿野町)は、2月14日、鹿野町の「手作りお菓子人気」を開催した。



当日は、手作りお菓子人気、奈良佐保短期大学(奈良市鹿野町)は、2月14日、鹿野町の「手作りお菓子人気」を開催した。



## 2020年度 奈良佐保の取り組み（特集：新型コロナウイルスの対応と記録）

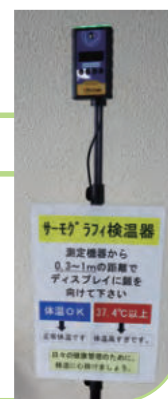
新型コロナウイルスの感染が世界に広がり、心配や不安感、ストレスが多い大変な年でした。新型コロナウイルス感染症の世界的な脅威によって、突然、様々な制約を受け予定を変更せざるを得なくなるなど、私たち全員が多大な犠牲を払うこととなりました。

こうした状況の中でも、本学は短期大学としての使命を果たすため、学内での感染及び拡大のリスクを低減したうえで、可能な限り多くの科目において「対面授業」を実施し、在学生の皆さんの「学修機会の確保」と「教育の質向上」に努めました。

その取り組みの記録を次にまとめました。

### 概要

- ①入学式(4月):科別で規模を縮小して実施
- ②全学一斉休校(4/7~4/10):奈良県に緊急事態宣言発出
- ③遠隔授業(4/13~5/31)
- ④対面授業開始(6/1)
- ⑤オープンキャンパス中止(4月・5月・1月)、特設オープンキャンパス新設



### 感染拡大防止

- ①毎朝、各施設の清掃後に机・椅子等のアルコール消毒
- ②各館の入口に非接触式体温検知器を設置
- ③各館各フロアにアルコール消毒液を設置
- ④各館の手洗いに感染拡大防止啓発用ポスターを掲出

### 感染拡大防止の注意喚起

- ①感染拡大防止啓発用横断幕を正門と本学バス停に掲出
- ②感染拡大防止の注意喚起をウェブサイトに掲載
 

○本学の方針・対応について	5回
○感染予防と健康管理、感染者発生時の対応について	4回
○【受験生の皆様へ】入学試験の対応について	3回
○オープンキャンパスの対応について	3回
○授業・学生生活について	4回
○地域、一般、その他の方へのお知らせ	4回
○厚生労働省・外務省などの外部リンク	1回

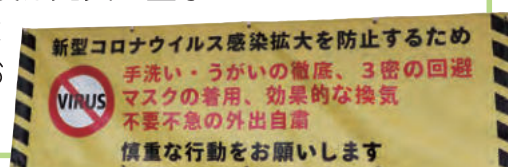


### 学生・教職員の感染状況

- ①1例目感染者 12月 学生(20代・女性)1名 濃厚接触者1名(PCR検査陰性)
  - ②2例目感染者 1月 学生(10代・男性)1名 濃厚接触者0名
  - ③3例目感染者 1月 学生(20代・男性)1名 濃厚接触者8名(PCR検査 陰性)
- ※施設のアルコール消毒を実施 確認観察 1名(PCR検査 陰性)

※いずれの感染者も健康管理期間を終了し、その後は元気に登学

※保健所において「本学内授業での濃厚接触者は認められない。」と判断されたことから、通常どおり対面による授業を継続



## 2021年度入試（2022年度入学生対象）

入 試 種 別	
自主的活動評価入試	高等学校等における校外外での自主的な活動の実績を評価する入試です。
総合型選抜（体験）	就きたい専門職にかかわる授業を体験し、そこでの努力する姿勢や意欲、コミュニケーション能力を評価する入試です。
総合型選抜（面談）	希望資格や学びたい内容が本学の教育内容と一致しているかなどについて、志望学科の教員とじっくり話し合い、受験するかどうかも含めてともに考えていく入試です。
学校推薦型選抜（指定校）	本学が指定する高等学校長の推薦により、選考試験を実施する入試です。
学校推薦型選抜（公募）	1期 2期 高等学校長の推薦により、選考試験を実施する入試です。
一般選抜	1期 2期 学力試験及び面接試験により、合否を判定する入試です。
社会人入試	入学時に満20歳以上の人を対象とする入試です。
外国人留学生入試（国内居住者用）	日本在住の外国人を対象とする入試です。

## 2021年度 オープンキャンパス

### 日時

2021年 4/17（土）  
5/29（土）  
6/13（日）  
7/10（土）  
8/22（日）  
9/18（土）  
11/7（日）  
12/5（日）  
2022年 1/29（土）  
2/27（日）  
3/26（土）

いずれも  
午後13：00～

場所 本学

☆予約不要

☆無料送迎あり

・JR奈良駅（12：20頃出発）

・近鉄奈良駅

※ウェブで申込みをされた方には  
さらにステキなプレゼントあり！

## 進学なんでも相談日（個別オーキャン）

### 日時

2021年 5/16（日）  
6/26（土）  
7/25（日）  
8/7（土）  
10/23（土）  
10/24（日）

いずれも  
午後13：00～

場所 本学

※無料送迎はありません。

## 2021年度 オープンキャンパス

### 日時

2021年 9/24（金）  
11/19（金）  
12/17（金）

18:00～20:00

場所 本学

大人の